クリーン作戦

環境部長　高嶋千明

去る十月十八日(日)、新型コロナウイルスの関係で春に実施出来なかった、「姥ヶ山自治会クリーン作戦」を実施しました。

当日は、自治会でマスクや消毒液を準備し、参加者の名簿を作成するために、氏名と連絡先を記載したメモを持参して頂きました。参加者は江東園の職員も含めて百人程でした。本当にありがとうございました。

今回は、春に実施しなかった事もあり、自転車などを含め粗大ゴミが多かったように思います。

今後はコロナ対策を行いながらこの活動を続けることで自治会内が美しく保たれていくと思います。

来年度も今回の実施方法を踏まえ「クリーン作戦」を実施していきたいと思います。多くの方の参加をお願いします。

全員での集合はせず、順次受付で実施

一丁目ブロック活動

一丁目ブロック長　浅井広己

なんて年に町内会長を引き受けてしまったのかと思う。自治会活動は、隣近所顔を合わせて、一緒に活動して、地域の安全と安心を保つ事が主目的だと言うのにだ。

そんな中、何をして好いものかと思いあぐねていた時に、新役員の一人から「奥さん達の力を借りて庭に咲く春の花を持ち寄ってブーケを作り、それを感染拡大で沈みがちな気分を少しでも明るくして笑ってもらえるように、新任役員二人で挨拶がてらに、花を事業所の皆さんに届ける。」という、男性には考えつかないアイデアの提案。

これは、これまで自治会費や祭りの寄付をいただきにに行くだけの皆さんに会えて、とても良い企画でした。

あと一つの事業は、夏のアメシロ防除作業。これは男たちの出番、持ち家の方々から参加いただいての、共同作業です。

隣近所・・・面倒臭いと言ってしまえば、こんな面倒な事は無い・・・でも、この頃の自然災害の甚大さを見れば、自助・共助・公助で頼りにするのは、共助です。その第一歩が顔を合わせての、隣近所の付き合いではないでしょうか。

来年度は是非普通に暮らせて、活動出来る事を願います。

六丁目ブロック梨狩り会

六丁目総務部　臼木明子

毎年恒例の梨狩り会が十月二十五日に行われました。六丁目では毎年春に江南区の梨農家から新興梨の木一本をお借りします。枝の端から端までは五メートル程もある大きな木です。初夏の袋掛けと秋の梨狩りを行っております。その年によって出来も違ってきますが、今年は台風もやってこず、夏の暑さも物ともせず、なにより梨畑のオーナーの手入れが良く、粒ぞろいの美味しそうな大きい梨が実りました。

その日はあいにくの雨模様だったのですが、ときどき青空も出て、これなら何とか梨狩りができそうだと、老若男女二十人程で一斉に梨狩りが始まりました。。梨のもぎ方にはコツがいり、梨の下から手を入れ上の方向に根本をつけたままゆっくり梨を上げていきます。そっちこっちから

「あ、これが一番大きい。」

「こっちの方が、いい梨だ。」

子供の歓声や、大人の真剣な声が聞こえてきました。

一時間程ですべての梨を取り終え、参加者皆で今年も沢山取れて良かった、お家で早速美味しい梨を食べようと、笑顔で帰路につきました。

梨畑での様子

窓

安倍総理が急に辞任し、菅政権が発足した。今度の腹痛の原因は？　寒桜が咲きそうだとの情報を察知し合点！　国権の最高機関である国会で嘘をつき続けたことになる。この際、森加計も含め再調査をしたらいかがだろう。どんな散り際を見ることになるのか？　安倍政権を継承する菅内閣誕生の裏理由にも納得！……

十一月に入りコロナの第三波が拡大中である。GO　TO事業は、本人が官房長官時に肝いりの政策のため、引込みがつかないのか、感染拡大をエビデンスと言う言葉を使い立証できないと言う始末。国民目線からは逆に原因ではないとも立証できない。ただはっきりしているのは、夏休み前のGO　TOトラベル実施により八月の第二波、秋の東京解禁で第三波。トラベルなのかトラブルなのかよく解らなくなってきた。付け焼刃的な政策が多いため国民や事業者に広く等しく恩恵が行き渡っているのか疑問も感じる。詐欺や不正の温床にさえなっている。また担当大臣は、現時点の状況ではと、スピード感が無い。感染症対策などは、碁や将棋と同じで先手を打たなければツンデしまう。ましてや国や自治体判断などと責任の擦り合いをしている場合ではなかろう。時間の過ぎる間に助かる命も助からなくなる。官僚達は車のブレーキとアクセルを同時に踏み込むとどうなるのか解っているのか？　前にも進めず、後戻りもできず、その場でオーバーヒートを起こすだけだ。オーバーシュートでそして誰もいなくなったでは笑えない。私達はどの様な正月を迎える事となるのだろう。・・・(O・S・M)

編集後記

平素より、姥ヶ山自治会活動に対しご理解と多大なるご協力を賜り、誠に有難うございます。

今年は、コロナ禍により、あらゆる行事が修正、縮小、自粛を余儀なくされ、紙面構成にも大きな影響を受けました。紙面の縮小も検討しましたが、新姥ヶ山会館も見事完成し、十月四日竣工の運びとなりました。設計、施工、及び関係者の皆様の御苦労には、ただ、ただ、感謝であります。

又、今号では今まで地域の皆様の身近な相談相手としての民生委員・児童委員の方を紹介させていただきました。健康、介護、子育て、仲間づくりなど生活上の悩みなど、是非とも相談をして欲しいと思います。今回の企画に対して快諾を頂いた、山潟地区民生委員児童委員協議会の児玉会長をはじめ、各ブロックの委員の方々に多大なる感謝を致します。

今後とも地域の相談相手として住民の方に幸を届けていただきたいと思います。

ここらでチョットほっこりしては。

○ 湯屋帰り　添いし席にて　腑抜け顔　朧月下に　蒼き五頭山

○ 紺碧に　東風が運びし　夫婦雲　上になったり下になったり

○ くるくると　風を味方の　枯葉ども　世界の宇野より上手かも

○ 樹も白く　ヒャッコイ衣を　着せられて　待ちたる春や　我も想わん

引き続き会報に情報提供を。

<< 姥ヶ山自治会のホームページは、http://www.ubagayama.jp です。>>